

平成26年7月16日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 喜田 哲弘



廣岡浅子
(提供：廣岡和治氏)

＜ 大同生命 特別展示 一般公開のお知らせ ＞
『大坂屈指の豪商「加島屋」からの400年の歩み』
きゅうてんじゅっきしょう
(新規公開 企画展示「九転十起生—廣岡浅子の生涯」)

T&D保険グループの大同生命保険株式会社(社長 喜田 哲弘)は、平成24年度(創業110周年)以降、当社および当社の礎を築いた加島屋に関する歴史的文書(大同生命文書)等を大阪本社メモリアルホールに「特別展示」として一般公開(期間限定)してまいりました。

このたび、加島屋における実業や女性教育に尽力した「廣岡浅子」の生涯の功績を紹介した企画展示を新設し、あわせて一般公開を行いますのでお知らせいたします。

(1) 企画展示「きゅうてんじゅっきしょう九転十起生—廣岡浅子の生涯」(新規公開)

当社の創業に深く関わり、実業家、女性教育家として尽力した廣岡浅子。ペンネーム「きゅうてんじゅっきしょう九転十起生」の示すとおり、決して諦めることのない廣岡浅子の生涯を紹介します。

- ・加島屋の立て直しのために、九州の炭鉱経営に乗り出す実業家としての功績。
- ・日本初の女子大学である「日本女子大学校」設立のため、各界の有力者に設立の協力を次々と取り付ける奔走ぶりを当時の資料をもとに紹介。
- ・廣岡浅子が開催した御殿場の夏期勉強会に集まった若い女性たちは、その後それぞれの分野で活躍します。

市川房枝氏(政治家)や村岡花子氏(児童文学者・「赤毛のアン」翻訳者)…。彼女たちに廣岡浅子が託したメッセージを紹介。



市川房枝氏
(提供：市川房枝記念会
女性と政治センター)



村岡花子氏
(提供：赤毛のアン記念館
村岡花子文庫)

(2) 特別展示のご案内(入館無料)

- ①会場 大同生命大阪本社 2階 メモリアルホール(大阪市西区江戸堀1丁目2番1号)
- ②展示内容 リーフレット(別紙)参照
- ③特別展示期間 平成26年7月19日(土)～9月30日(火)
- ④開館時間 10:00～16:00(水曜日は19:00まで)
- ⑤休館日 土・日、祝祭日(ただし、7月19日(土)～21日(月・祝)、8月9日(土)・10日(日)および8月16日(土)・17日(日)は開館)
- ⑥交通のご案内 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車 すぐ(1-A、1-B出口)
地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車 徒歩5分
京阪電鉄中之島線「渡辺橋駅」下車 徒歩5分

以上

【お問合せ先】

広報課 TEL. 03-3434-9190



■メモリアルホールについて

ここメモリアルホールは、1925(大正14)年から現在の本社ビルへの建替が行われる1990(平成2)年まで当地にありました、建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計による大同生命旧肥後橋本社ビルの内外装の一部を用い、当時の様子を復元再生したものです。

出入口上部の飾りのテラコッタ(粘土を素焼きして造った装飾物)は、旧ビルに使用されていたものであり、頭部に飾りのあるテラコッタの柱、およびホール中央壁面のトレーサリー(壁面の飾り)は実物を解体復元したものです。また、ドーム状の天井は当時のデザインをそのまま復元いたしました。

旧ビルに用いられていた優れた実物やデザインを移設・復元したメモリアルホールには、過去を現在に生かし、また未来へとつないでいく願いが込められています。

大同生命保険株式会社 特別展示

大坂屈指の豪商「加島屋」からの400年の歩み ～大同生命の源流とその発展の歴史をたどる

■会場

大同生命大阪本社 2階 メモリアルホール
※1階受付よりご入館下さい。
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
電話: (06)6447-6111(代表)
ウェブサイト: <http://www.daido-life.co.jp/110th/memorial/>

■交通のご案内

地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車 すぐ
(1-A、1-B出口)
地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車 徒歩5分
京阪電鉄中之島線「渡辺橋駅」下車 徒歩5分

■特別展示期間

平成26年7月19日(土)～9月30日(火)

■開館時間

10:00～16:00(毎週水曜日は19:00まで)

■休館日

毎週土・日・祝祭日
※ただし、7月19日(土)～21日(月・祝)、8月9日(土)・10日(日)
および8月16日(土)・17日(日)は開館します。
※その他臨時に休館する場合がございます。

- 入館は無料です。
- 本社ビル内での飲食・喫煙はできません。
- 駐車場はございません。会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。



DAIDO 大同生命保険株式会社

DAIDO 大同生命保険株式会社

特別展示

大坂屈指の豪商「加島屋」からの 400年の歩み ～大同生命の源流とその発展の歴史をたどる

7/19.Sat ○ 9/30.Tue

大同生命大阪本社 2階 メモリアルホール



広岡浅子

企画展示 九転十起生一 広岡浅子の生涯

明治時代に実業家として活躍し、日本女子大学の設立に奔走した広岡浅子。

彼女の生涯と市川房枝・村岡花子ら次代を担う若き女性たちに託したメッセージを紹介します。



市川房枝



村岡花子

ごあいさつ

平素より大同生命をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

当社は、1902(明治35)年7月15日、ここ大阪の肥後橋において創業いたしました。創業以来、「加入者本位」「堅実経営」を社是とし、お客さまをはじめとするご関係者の方々のご支援・ご協力により、現在に至ることができました。厚くお礼申しあげます。

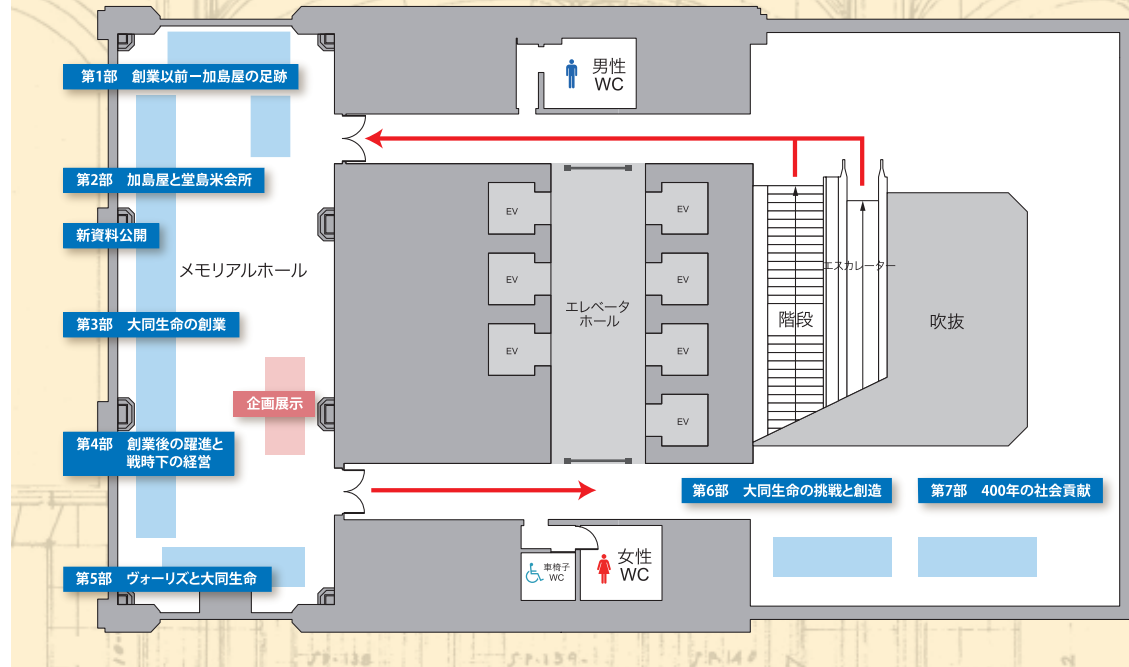
さて、創業当時、ここ肥後橋には、江戸時代の豪商で当社の礎を築くこととなった両替商・加島屋が店を構えておりました。今般、創業の地であるこの場所で、加島屋から大同生命への歩みをご紹介申しあげ、あわせて、当社が所蔵し、現在大阪大学とのプロジェクトで研究が進められている史料等を展示することといたしました。是非ご高覧いただければと存じます。

また、展示場所のメモリアルホールは、「近代大阪の名建築」と謳われたヴォーリズ設計の旧大同生命本社(大正14年新築落成)の内外装の一部を用いて構築し、部分的な保存を行ったものです。当時の息吹を感じていただければ幸いです。

創業より110余年、幾多の大きな時代の変化を乗り越えることができましたのは、「加入者本位」「堅実経営」に一貫して努めたことに加え、大阪の豪商・加島屋から続く「進取の精神」によるものだと考えております。これからも創業の精神を忘れることなく、お客さまをはじめとするご関係者の方々の発展のために努力する所存でございます。何卒より一層のご高援、ご愛顧をお願いいたします。

大同生命保険株式会社
取締役社長 喜田哲弘

大坂屈指の豪商「加島屋」からの400年の歩み ～大同生命の源流とその発展の歴史をたどる



企画展示 九転十起生ー広岡浅子の生涯



▲ 広岡浅子
(提供: 広岡和治氏)

明治初期の大坂、獅子奮迅の活躍で加島屋を建て直し、女子教育向上のために日本女子大学校の設立に奔走した広岡浅子。ペンネーム「九転十起生」の示すとおり、決して諦めることのない彼女の生涯を紹介します。浅子が主催した御殿場・二の岡での夏期勉強会。そこに集まった若い女性たちはやがて夫々の分野で活躍していきます。市川房枝、村岡花子……。彼女たちに浅子が託したメッセージを紹介します。



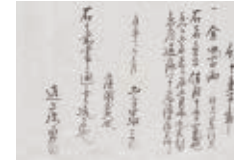
▲ 市川房枝
(提供: 市川房枝記念会
女性と政治センター)



▲ 村岡花子
(提供: 赤毛のアン記念館
村岡花子文庫)

第1部 創業以前ー加島屋の足跡

大同生命の礎を築いたのは、大坂屈指の豪商「加島屋」です。これまであまり紹介されていない加島屋の姿を、今も残る貴重な史料「新撰組借用书」や、歴史上の著名な人物との関わりなどを交えてご紹介します。



▲ 新撰組借用书

第2部 加島屋と堂島米会所

▼ 中津蔵判書帳



▲ 堂島米会所跡
(堂島米市場記念碑)

江戸時代の経済の基準であった米に関わる商売で財を成した加島屋。そのビジネスモデルや商家としての一面をご紹介します。

また、加島屋活躍の舞台である世界最先端の金融市場ともいわれた堂島米会所の概要をご紹介します。

第3部 大同生命の創業

大同生命は、1902(明治35)年、生命保険会社3社が合併し誕生しました。創業までの道のりを明治の女性実業家・広岡浅子や私立京都法政学校(立命館大学の前身)の創立者・中川小十郎の活躍などを交えてご紹介します。

▼ 合併契約書



▲ 広岡浅子
(提供: 広岡和治氏)

第4部 創業後の躍進と戦時下の経営

▼ 貯蓄を奨励する広告



創業直後から太平洋戦争に至るまで、近代企業としての大同生命の基礎作りを担い、その後の躍進を導いたリーダーたちをご紹介します。



◀ 第2代社長 広岡恵三

第5部 ヴォーリスと大同生命

日本国内にて1,500棟余りの西洋建築を手がけた著名な建築家、ウィリアム・メレル・ヴォーリスと大同生命との関わりをご紹介します。また、大同生命に今も残るヴォーリス建築のデザインをご紹介します。



▲ 大同生命旧肥後橋本社ビル



▲ ヴォーリスと満喜子夫人
(提供: 近江兄弟社ヴォーリス記念館)

第6部 大同生命の挑戦と創造

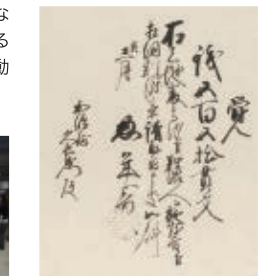


▲ 東京証券取引所への上場

終戦から再出発した大同生命が激動の昭和を通じて確立した独自のビジネスモデルと、現在までに至る歩みをご紹介します。

第7部 400年の社会貢献

▼ 地震高潮施餞受取書
(安政南海地震の寄付)



◀ 大同生命社会貢献の会
一日外出支援ボランティアの様子